

校長メッセージ 「自分で考えて やってみる」 2024/07/01

4月の学級懇談会の冒頭でお話したように、今年度、汐路小学校では「自分で考えて行動できる子の育成」を目標としています。この目標を子どもたちに意識してほしいと考え、放送朝会で話をしています。

5月8日（月）には、「自分で考えて やってみる」というテーマで、「よい学習をするために、よい学級づくりのために、自分がしたいこと、自分にできることを考えてやってみましょう」という話をしました。

5月23日（月）には、「“自分で考えて やってみる” がうまくいかなかったときは」というテーマで「“考えたけど、できなかった” という子は、勇気を出してやってみましょう。“やってみたけど、うまくいかなかった” という子は、もう一度考えてやってみましょう」という話をしました。

人生は、「自分で考えて やってみる」「勇気を出して やってみる」「もう一度考えて やってみる」の繰り返しではないでしょうか。子どもたちは、この先の長い人生、便利ではあるけれど先の見えない世の中で、自分で考えて、自分の進む道を決めていかなければなりません。そのために「自分で考えて やってみる」練習をするのが、幼児期から青年期なのだと思います。

本校では、昨年度から「自由進度学習」に少しずつ取り組んでいます。今年度は、「自律して学ぶことができる子どもの育成 ～「見通す」段階での工夫を通して～」というテーマで、実践に取り組んでいます。自由進度学習では、「自分で考えて やってみる」を大切にしています。この取り組みについては、2学期の授業参観や学校・学年だよりなどで紹介していく予定です。PTAでも、家庭教育セミナーや広報誌で「自由進度学習」を取り上げることになっていると聞き、校長として大変うれしく思っています。

夏休みは、家庭や地域で「自分で考えて やってみる」を実践するととてもよい機会です。ついつい「〇〇をなさい」と言いたくなってしまうかもしれませんが、「あなたは何をしたいの?」「どうしたらいいと思う?」「何をしてほしいの?」と問いかけ、子どもたちに考える時間を設けてやってください。初めは小さなことからでかまわないと思います。